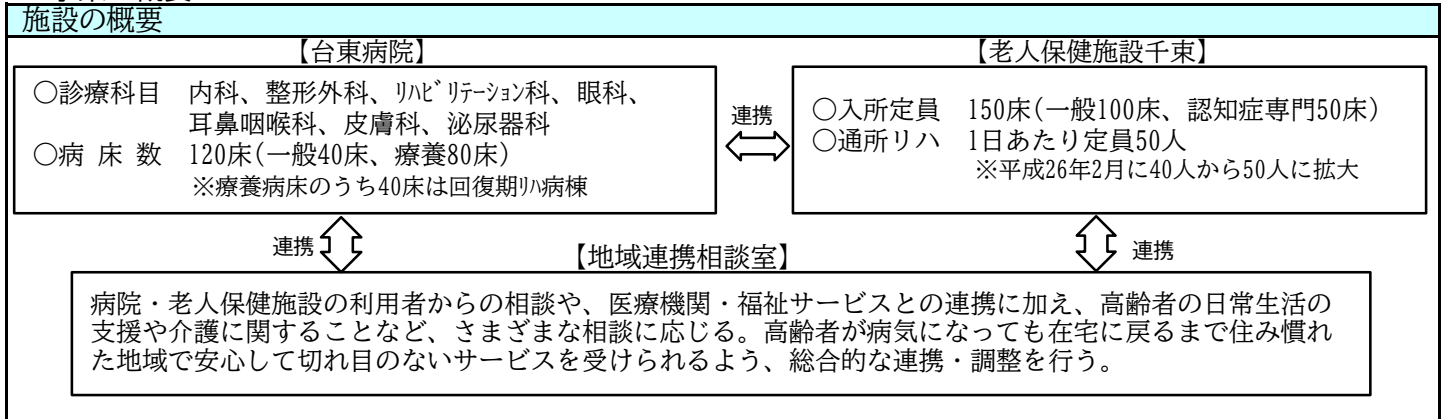


令和4年度 台東区立台東病院及び老人保健施設千束 運営評価表  
(令和3年度実績の評価)

施設名	台東区立台東病院・老人保健施設千束
事業開始年度	平成21年度
開設者	台東区(病院所管課:健康部健康課、老健所管課:福祉部高齢福祉課)
指定管理者	公益社団法人地域医療振興協会
評価の目的	サービスの提供の効果等について、記録、測定又は分析し、一定の基準に照らして客観的に評価・検証することにより、業務・運営等を継続的に改善させる。
評価内容	○新台東病院等整備基本計画に定める基本理念を的確に反映しているか。 ○基本協定書に基づき、保健・医療・福祉機能とその役割を適切に果たしているか。 ○地域に開かれた施設になっているか。
評価項目	①役割・機能、②効率性・経済性、③計画性・改善状況等

1 事業の概要



施設の基本理念

- 高齢者が住み慣れた地域で療養できるよう、高齢者の慢性疾患に対応する病院と在宅復帰に必要な入所施設を一体的に確保します。
- 高齢者がいつまでも自分らしく、安心した在宅生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉サービスを提供します。
- 高齢者が施設や在宅で必要な保健・医療・福祉サービスを円滑に利用できるよう、サービスの担い手との連携を積極的に推進します。
- 安心して子育てができるよう、医療の面から支援します。
- 快適な療養環境や質の高いサービスを効率的に提供します。
- 『運営の透明性』、『区民に対する説明責任』を確保し、上記の理念が適切に果たされていることを区民の視点に立って評価・検証します。

基本方針

台東病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合医を中心としたチームによる医療を提供します。</li> <li>○利用者本位で、満足度の高い医療を提供します。</li> <li>○関係機関との連携を推進し、安心して在宅生活を送れるよう、医療を提供します。</li> <li>○医療従事者の育成と資質の向上に努めます。</li> <li>○区の小児初期救急医療のしくみを補完します。</li> <li>○健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。</li> </ul>
老健千束	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良質で包括的なサービスを提供します。</li> <li>○利用者的人格及び意思を尊重し、快適で質の高い療養・介護環境を提供します。</li> <li>○地域の福祉関連機関との連携のもと、円滑な在宅復帰を目指します。</li> <li>○病院に併設されていることの利点を最大限に活かします。</li> <li>○健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。</li> </ul>

## 2 指定管理者の運営理念等

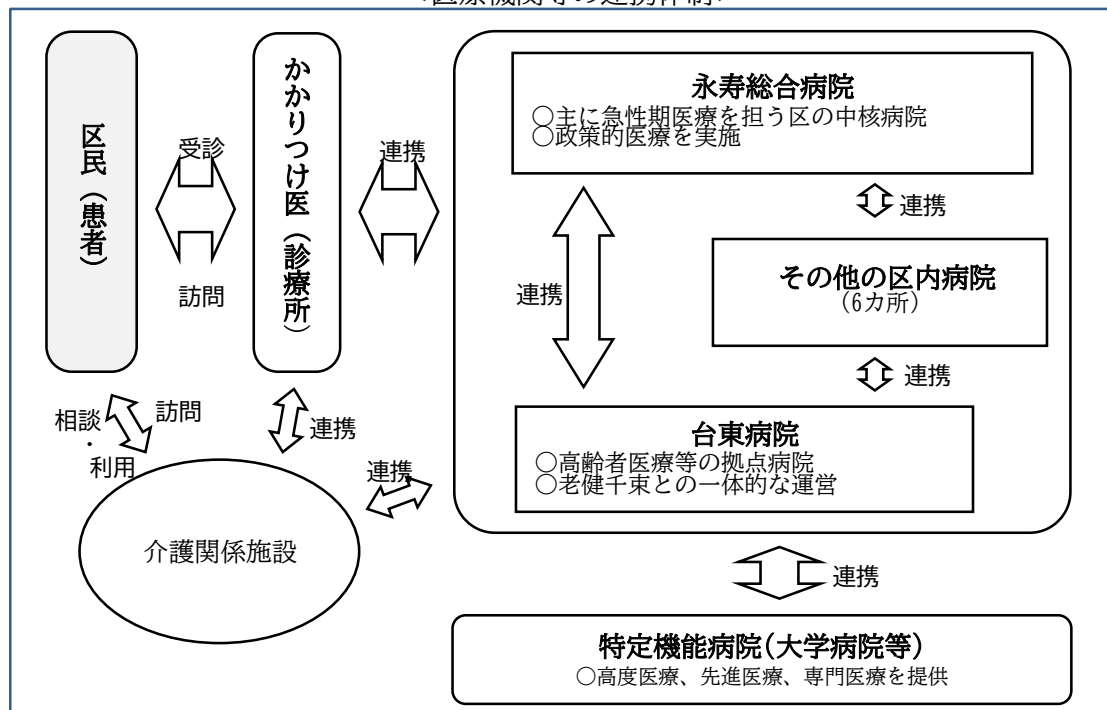
### 運営理念

『ずっとこのまちで暮らし続けたい』を応援します

### 運営基本方針

- 高齢者医療に力をいれます
- 在宅医療を支援します
- まずは受け入れるという姿勢を持ちます
- 地域と連携してサービスを提供します
- 医療に恵まれない地域の支援を行います

### < 医療機関等の連携体制 >



### 3 事業の現況とその推移

#### (1) 経営の状況

(1,000円未満を四捨五入、単位:千円)

区分		R元年度	R2年度	R3年度	前年度比	主な計上科目	
台東病院	収益	医業収益	2,105,059	1,933,295	2,114,418	181,123	入院・外来収益等
		医業外収益	115,003	107,018	213,504	106,485	指定管理料・新型コロナウイルス関連補助金等
		合計	2,220,062	2,040,313	2,327,922	287,609	
		(うち指定管理料)	18,530	18,700	18,700	0	
	費用	医業費用	2,213,505	2,146,515	2,159,979	13,464	給与費・材料費・委託費等
		医業外費用	77,892	26,901	19,015	△ 7,886	その他の事業外費用
		合計	2,291,397	2,173,416	2,178,994	5,578	
	損益	医業損益	△ 108,445	△ 213,220	△ 45,560	167,659	—
		医業外損益	37,110	80,117	194,489	114,371	—
合計		△ 71,335	△ 133,102	148,928	282,030		
老健千束	収益	事業収益	1,014,669	912,921	852,510	△ 60,412	介護保険施設介護料収益
		事業外収益	7,702	40,877	8,241	△ 32,637	交付金・補助金・受託収益
		合計	1,022,371	953,799	860,750	△ 93,048	
		(うち指定管理料)	0	0	0	0	—
	費用	事業費用	854,730	936,509	953,835	17,326	給与費・材料費・委託費等
		事業外費用	29,787	9,223	24,474	15,251	その他の事業外費用
		合計	884,517	945,732	978,309	32,577	
	損益	事業損益	159,939	△ 23,587	△ 101,325	△ 77,737	—
		事業外損益	△ 22,085	31,654	△ 16,233	△ 47,888	—
合計		137,854	8,067	△ 117,558	△ 125,625		
全体	収益	事業収益	3,119,728	2,846,217	2,966,928	120,712	
		事業外収益	122,704	147,896	221,744	73,848	
		合計	3,242,433	2,994,112	3,188,673	194,560	
		(うち指定管理料)	18,530	18,700	18,700	0	
	費用	事業費用	3,068,235	3,083,023	3,113,814	30,790	
		事業外費用	107,679	36,124	43,489	7,365	
		合計	3,175,914	3,119,147	3,157,302	38,155	
	損益	事業損益	51,493	△ 236,807	△ 146,885	89,922	
		事業外損益	15,026	111,772	178,255	66,484	
合計		66,519	△ 125,035	31,370	156,405		

#### 収支の概要

台東病院	<p>前年度と比べ、医業収益は1億8,112万円(9.4%)増の21億1,442万円、医業費用は約1,346万円(0.6%)増の21億5,998万円で、医業損益は1億6,760万円(21.4%)増の4,556万円の赤字となった。</p> <p>医業外収益は1億649万円(99.5%)増の2億1,350万円(指定管理料1,870万円・新型コロナウイルス関連補助金9,430万円・新型コロナウイルスワクチン集団接種確保業務委託料等4,000万円を含む)、医業外費用は約789万円(29.3%)減の1,902万円で、医業外損益は1億1,437万円増の1億9,449万円の黒字となった。</p> <p>この結果、台東病院全体の損益は2億8,203万円増の1億4,893万円の黒字となった。</p>
老健千束	<p>前年度と比べ、事業収益は6,041万円(6.6%)減の8億5,251万円、事業費用は1,733万円(1.9%)増の9億5,384万円で、事業損益は約7,774万円(329.6%)減の1億133万円の赤字となった。</p> <p>事業外収益は3,264万円(79.8%)減の824万円(新型コロナウイルス関連補助金8万円含む)、事業外費用は1,525万円(165.4%)増の2,447万円で、事業外損益は4,789万円(151.3%)減の約1,623万円の赤字となった。</p> <p>この結果、老健千束全体の損益は約1億2,563万円減の1億1,756万円の赤字となった。</p>

(2)運営の状況

①役割・機能  
【台東病院】

区分		R元年度	R2年度	R3年度	前年度比	備考
体制	職員数	153.0人	156.0人	147.4人	△8.6人	○年度末を基準とする ○常勤医師以外は常勤換算人数 ○職員数合計は医師、看護・介護職員、リハビリ職員の合算
	医師	17.6人	19.4人	18.6人	△0.8人	
	常勤医師	11.5人	11.5人	11.5人	0.0人	
	非常勤医師	6.1人	7.9人	7.1人	△0.8人	
	看護・介護職員	101.5人	105.6人	96.8人	△8.8人	
	リハビリ職員	34.0人	31.0人	32.0人	1.0人	
入院	病床利用率	90.8%	82.1%	83.2%	1.1%	病床利用率＝入院延べ患者数÷延べ病床数×100
	一般	88.4%	76.7%	78.1%	1.4%	
	回復期リハ	91.9%	82.6%	84.8%	2.2%	
	療養	92.2%	87.1%	86.8%	△0.3%	
	延べ入院患者数	39,885人	35,964人	36,448人	484人	令和3年度に新たに入院した患者数
	50歳代以下	3.2%	11.6%	5.1%	△6.5%	
	60歳代	5.7%	8.0%	6.3%	△1.7%	
	70歳代	19.5%	21.5%	28.5%	7.0%	
	80歳代	47.7%	38.4%	39.5%	1.1%	
	90歳代以上	23.9%	20.5%	20.6%	0.1%	
	新入院患者数	1,175人	961人	1,036人	75人	令和3年度に新たに入院した患者数
	一般	967人	776人	817人	41人	
	回復期リハ	126人	103人	132人	29人	
	療養	82人	82人	87人	5人	
平均在院日数	34.0日	37.5日	34.8日	△2.7日	延べ入院患者数÷{(新入院患者数+退院患者数)÷2}	
一般	15.7日	16.8日	15.9日	△0.9日		
回復期リハ	65.6日	72.8日	64.8日	△8.0日		
療養	94.0日	90.0日	99.7日	9.7日		
台東区民の占める割合	87.0%	88.2%	86.1%	△2.1%		
回復期リハ棟の在宅復帰率	98.0%	93.0%	91.5%	△1.5%	1年間分	
外来	延べ患者数	73,961人	64,029人	64,095人	66人	延べ患者数÷外来診療日数
	1日平均患者数	252.4人	218.5人	218.8人	0.3人	
	初診患者数	11,826人	8,700人	8,832人	132人	初診料を算定した患者数
	新患率	16.0%	13.6%	13.8%	0.2%	初診患者数÷延べ患者数×100
	台東区民の占める割合	87.8%	88.2%	88.9%	0.7%	
	初期救急患者数	987人	974人	851人	△123人	R3年度 発熱外来受診者 1,768人
	救急車受入数	313人	275人	319人	44人	
来院患者数	674人	699人	532人	△167人		

【老健千束】

区分		R元年度	R2年度	R3年度	前年度比	備考
体制	職員数	83.0人	87.6人	87.0人	△0.6人	○年度末を基準とする ○全て常勤換算人数
	医師	1.5人	1.5人	1.5人	0.0人	
	介護・看護職員	70.0人	73.6人	73.5人	△0.1人	
	リハビリ職員	11.5人	12.5人	12.0人	△0.5人	
入所	入所利用率	94.5%	88.0%	83.0%	△5.0%	延べ入所者数÷延べベッド数×100
	1日あたり短期入所者数	9.3人	4.6人	3.6人	△1.0人	延べ短期入所者数÷365日(閏年は366日)
	延べ入所者数	51,877人	48,204人	45,428人	△2,776人	延べ入所者数は長期入所と短期入所(ショートステイ)の合算
	60歳代以下	3.5%	2.3%	3.5%	1.2%	
	70歳代	9.5%	9.7%	15.1%	5.4%	
	80歳代	45.7%	43.4%	40.7%	△2.7%	
	90歳代以上	41.3%	44.4%	40.7%	△3.7%	
	平均在所日数	229.3日	265.0日	218.3日	△46.7日	入所延べ日数÷{(新規入所者数+退所者数)÷2} ※1年間分
	回転率	13.3%	9.6%	13.9%	4.3%	月間平均暦日数÷平均在所日数×100
台東区民の占める割合	99.9%	99.9%	99.9%	0%		
在宅復帰率	42.8%	36.6%	26.5%	△10.1%	退所先が自宅やグループホーム等の割合	
通所	1日あたりの利用者数	40.9人	29.9人	23.4人	△6.5人	延べ利用者数÷通所営業日数
	台東区民の占める割合	100.0%	100.0%	100.0%	0%	

【連携等】

区分		R元年度	R2年度	R3年度	前年度比	備考	
地域連携相談室	職員数	12.0人	10.0人	10.0人	0.0人	全て常勤換算人数	
	社会福祉士	3.0人	4.0人	3.0人	△1.0人		
	支援相談員	3.0人	3.0人	3.0人	0.0人		
	介護支援専門員	3.0人	2.0人	3.0人	1.0人		
	事務員	3.0人	1.0人	1.0人	0.0人		
	相談件数	2,381件	2,150件	2,200件	50件	主たる内容により区分	
	入院(一般)	964件	776件	817件	41件		
	入院(回復期リハ)	397件	416件	430件	14件		
	入院(療養)	232件	246件	235件	△11件		
	入所	604件	528件	595件	67件		
通所	184件	184件	123件	△61件			
紹介	入院患者	519人	457人	467人	10人	○検査依頼を除く、医師の紹介状(診療情報提供書)を持参した患者数 ○紹介率=(紹介状持参患者数+救急患者数)÷初診料算定患者数 $(1,254+317)/8,832 = 17.8\%$	
	一般	314人	273人	251人	△22人		
	回復期リハ	127人	103人	130人	27人		
	療養	78人	81人	86人	5人		
	診療所からの紹介(再掲)	125人	102人	93人	△9人		
	外来患者	857人	829人	787人	△42人		
	病院から	352人	350人	314人	△36人		
診療所から	453人	445人	441人	△4人			
施設から	52人	34人	32人	△2人			
逆紹介	入院患者	470人	371人	405人	34人		○診療情報提供料を算定した患者数(返送患者を含む) ○逆紹介率=診療情報提供料算定患者数÷初診料算定患者数 $1,970/8,832 = 22.3\%$
	一般	228人	193人	205人	12人		
	回復期リハ	158人	112人	144人	32人		
	療養	84人	66人	56人	△10人		
	診療所への逆紹介(再掲)	177人	145人	170人	25人		
	外来患者	1,511人	1,481人	1,472人	△9人		
	病院へ	1,100人	1,100人	999人	△101人		
	診療所へ	307人	325人	381人	56人		
施設へ	26人	8人	25人	17人			
宛名なし等	78人	48人	67人	19人			
返送	入院患者	114人	73人	93人	20人	診療情報提供書を持参した患者のうち、入院後、紹介元医療機関等に返送(診療情報提供料を算定)した患者数	
	一般	64人	46人	49人	3人		
	回復期リハ	42人	22人	29人	7人		
	療養	8人	5人	15人	10人		
	診療所への返送(再掲)	65人	49人	50人	1人		
入退院患者・入退所者の経路	新入院患者	自宅から	50.1%	45.4%	49.5%	4.1%	新入院患者の総数は、令和元年度1,175人、令和2年度961人、令和3年度1,036人
	診療所からの紹介	10.6%	10.6%	9.0%	△1.6%		
	他病院からの紹介	29.2%	31.0%	32.5%	1.5%		
	福祉施設等から	6.6%	7.6%	4.8%	△2.8%		
	老健千束から	3.5%	5.4%	4.2%	△1.2%		
	退院患者	自宅へ	45.5%	41.6%	43.8%	2.2%	退院患者の総数は、令和元年度1,177人、令和2年度959人、令和3年度1,056人
	診療所への逆紹介	15.0%	15.1%	16.1%	1.0%		
	他病院への転院	8.0%	9.1%	8.4%	△0.7%		
	他病院の外来への紹介	5.9%	4.3%	5.1%	0.8%		
	福祉施設等へ	11.0%	10.2%	8.6%	△1.6%		
	老健千束へ	5.8%	7.0%	6.5%	△0.5%		
	看取り	8.8%	12.7%	11.5%	△1.2%		
	新入所者	自宅から	38.4%	27.3%	23.3%	△4.0%	新入所者の総数は、令和元年度198人、令和2年度143人、令和3年度180人
	福祉施設等から	4.0%	5.6%	2.2%	△3.4%		
台東病院から	34.3%	46.8%	37.8%	△9.0%			
他の病院から	23.2%	20.3%	36.7%	16.4%			
退所者	自宅へ	29.6%	13.1%	13.4%	0.3%	退所者の総数は、令和元年度196人、令和2年度168人、令和3年度157人	
福祉施設等へ	35.2%	33.9%	35.0%	1.1%			
台東病院へ	20.9%	31.0%	28.0%	△3.0%			
他の病院へ	4.6%	8.3%	2.6%	△5.7%			
看取り	9.7%	13.7%	21.0%	7.3%			
緊急一時病床利用者数	142人	122人	99人	△23人	うち在宅療養患者の受入は40人		
退院前カンファレンス件数	168件	120件	124件	4件	多職種による検討会の実施件数		
訪問リハビリテーション延べ利用者数	2,880件	2,807件	3,148件	341件	平成23年2月より実施		

## ②経営分析

区分		R元年度	R2年度	R3年度	前年度比	備考	
台東病院	経常収支比率	96.9%	93.9%	106.8%	12.9%	総収益÷総費用×100	
	総費用に対する指定管理料比率	0.8%	0.9%	0.9%	0.0%	指定管理料÷総費用×100	
	医業収益に対する職員給与費比率	71.2%	74.3%	65.6%	△8.7%	職員給与費÷医業収益×100	
	医業収益に対する委託費比率	6.9%	9.0%	9.5%	0.5%	委託費÷医業収益×100	
	医業収益に対する材料費比率	14.2%	15.2%	13.9%	△1.3%	材料費÷医業収益×100	
	病床利用率	90.8%	82.1%	83.2%	1.1%	入院延べ患者数÷延べ病床数×100	
	1日外来患者数	252.4人	218.5人	218.8人	0.3人	延べ患者数÷外来診療日数	
	入院患者1人1日あたり診療収入	34,414円	34,995円	36,138円	1,143円	入院収益÷入院延べ患者数	
	外来患者1人1日あたり診療収入	7,237円	7,913円	8,196円	283円	外来収益÷外来延べ患者数	
	医師1人1日あたり診療収入	298,159円	243,143円	258,110円	14,967円	(入院収益+外来収益)÷年延べ医師数(看護・介護職員数)	
	看護・介護職員1人1日あたり診療収入	49,885円	44,340円	52,778円	8,438円		
	CT	稼働率	59.3%	58.8%	47.2%	△11.6%	稼働率=検査件数÷(1日あたり検査可能件数(20件)×外来診療日数)×100*令和2年度については、CT更新による稼働停止期間(10診療日)を外来診療日数から減じて算出
		検査件数	3,474件	3,448件	2,768件	△680件	
		うち検査依頼受付件数	286件	401件	367件	△34件	
MRI	稼働率	83.0%	64.4%	62.1%	△2.3%	稼働率=検査件数÷(1日あたり検査可能件数(12件)×外来診療日数)×100*令和元年度については、MRI更新による稼働停止期間(67診療日)を外来診療日数から減じて算出	
	検査件数	2,184件	2,265件	2,182件	△83件		
	うち検査依頼受付件数	348件	463件	459件	△4件		
老健千束	事業収支比率	115.6%	100.9%	88.0%	△12.9%	総収益÷総費用×100	
	総費用に対する指定管理料比率	0	0%	0%	0%	指定管理料÷総費用×100	
	事業収益に対する職員給与費比率	53.3%	68.8%	76.0%	7.2%	職員給与費÷事業収益×100	
	事業収益に対する委託費比率	11.3%	13.0%	13.3%	0.3%	委託費÷事業収益×100	
	入所利用率	94.5%	88.0%	83.0%	△5.0%	入所延べ患者数÷延べベッド数×100	
	1日通所利用者数	40.9人	29.9人	23.4人	△6.5人	延べ利用者数÷通所運営日数	
	入所者1人1日あたり事業収益	15,717円	16,475円	15,161円	△1,314円	入所収益÷入所延べ患者数	
	通所者1人1日あたり事業収益	11,845円	11,484円	13,038円	1,554円	通所収益÷通所延べ患者数	

## ③計画性・改善状況等

区分		R元年度	R2年度	R3年度	前年度比	備考
講演会		5件	3件	5件	2件	喫煙防止教室
その他区民向けイベント		21件	0件	0件	0件	新型コロナウイルス感染症の影響で中止
投書件数		75件	16件	10件	△6件	
	謝意	38件	10件	6件	△4件	
	助言	3件	2件	2件	0件	
	苦情	34件	4件	2件	△2件	

### 主な意見と対応

- 【謝意】 ○ 約2年間長きに渡り母の面倒を看ていただき感謝している。コロナウイルスのため面会が出来ない状況だったが、最後に家族・親戚と面会の配慮をしていただき別れを告げることが出来た。
- 【助言】 ○ 1階に給水機が設置されているが、冬場は水だと冷たい。何とか出来ないか。  
⇒ 温めの水が出る機種に入替えた。
- 【苦情】 ○ 電話で自分自身の入院時の病名と診療科名を聞いたところ、個人情報なので来院していただけないと教えられないとの答えで来院した。すでに退院している情報について、そのような手続きが必要とは理解しがたい。  
⇒ 電話では本人確認が出来ないため、来院をお願いしている。

## ④その他

### 居宅介護支援事業所千束(自主事業)

介護支援専門員は他部門配置により10月より1名削減し、1名体制にて運営している。  
介護給付管理件数は33.9件/月と前年度(41.3件/月)から減少しているが、病院併設のメリットを生かして、他事業所にて対応が難しい医療行為のある在宅患者や処遇困難事例のケース担当を今後も継続的に担っていく。

4 評価

【評価の段階】

A	目的・要求等を十分に満たしている状態
B	目的・要求等を概ね満たしている状態
C	目的・要求等に対し補う必要がある状態

(1)役割・機能の評価

①台東病院が主に高齢者の慢性期医療を担う拠点病院として機能しているか	
【参考指標】患者実績(P4)など	
事業者評価 A	根拠 前年度同様、在宅療養や施設入所が困難な医療依存度の高い患者や終末期の患者を積極的に受け入れ、療養病棟における看取り対応患者の割合は53.3%(前年度比6.4ポイント増)と増加した。 また、高齢者の慢性期医療を支える病院として、積極的に高齢患者を受け入れることで、60歳以上の入院患者が前年度の約88%から6.5ポイント増加したことから、地域における主に高齢者の慢性期医療を担う拠点病院として機能している。
協議会評価 A	根拠 在宅療養や施設入所が困難な医療依存度の高い患者、他病院から終末期の患者を積極的に受け入れたことから、療養病棟の看取り患者割合が増加している。 また、高齢の患者を積極的に受け入れることで60歳以上の入院患者数が増加したことから、地域における高齢者の慢性期医療を担う拠点病院として機能していると評価できる。

②台東病院・老人保健施設千束が在宅復帰・在宅療養を支援する施設として機能しているか	
【参考指標】入所者実績、リハビリテーション実績(P4)など	
事業者評価 A	根拠 回復期リハビリテーション病棟における病床利用率は84.8%(前年度比2.2ポイント増)、在宅復帰率は91.5%(前年度比1.5ポイント増)と高い水準で推移している。また、一般病棟においてもポストアキュート・サブアキュートの患者を近隣医療機関や施設から積極的に受け入れた。対面でのカンファレンスは制限がある中、前年度と同様にWEB媒体を用いた退院前カンファレンスを、124件開催し、地域医療機関に向けたスムーズな在宅移行へと繋げている。更に地域におけるリハビリ機能拡充として、訪問リハビリテーションは3,148件(前年度比341件増)実施し、地域ニーズに即した施設として機能した。 老健については、感染予防対策のため、自宅への一時的な退所支援を停止したこと等により、在宅復帰率が低迷しているものの、これまで同様十分に検討した上で、在宅生活継続に向けた在宅復帰支援を行った。平成30年度に在宅復帰の強化等により取得した「在宅強化型」の施設基準も維持している。 また、継続して短期入所療養介護における緊急ショートステイのサービス提供を積極的に行い、4月及び5月は短期入所療養介護のサービス提供を中止していたにもかかわらず、入所延べ日数は月平均で前年度23.5日に対し、今年度は24.9日であり、令和2年度と同等のサービス水準を維持したことから、在宅復帰に向けた入所施設として機能している。
協議会評価 A	根拠 回復期リハビリテーション病棟における在宅復帰率が90%以上を維持しており、一般病棟においてはポストアキュート・サブアキュートの患者を近隣医療機関から積極的に受け入れを行った。また、WEBによる退院前カンファレンス及び訪問リハビリテーションに注力した。 老人保健施設千束は、平成30年度に取得した「在宅強化型」の施設基準を維持しており、また、短期入所療養介護における緊急ショートステイのサービス提供を積極的に行った結果、入所延日数は月平均で増加した。 在宅復帰、在宅療養を支援する施設として機能していると評価できる。

③医療機関等との連携は適切に行われているか	
【参考指標】医療連携の実績(P5)など	
事業者評価 A	根拠 紹介入院患者数は467人と前年度比10人増となった。新型コロナウイルス感染症回復後患者の転院受入先を調整する「後方支援医療機関連携コンソーシアム」にも継続参加し、36登録医療機関の総受入件数101件のうち、最も多い16件の患者を受け入れた。新型コロナウイルス罹患後の患者については、前記16件を含む32件を近隣医療機関から受け入れた。 また、地区医師会と連携し、更なる在宅療養体制の包括的な支援を目的とした「台東病院在宅療養支援患者登録制度」を、令和4年1月からモデル事業として、6医療機関と開始した。 地区医師会とは、検査や入院が必要な在宅療養患者の受入促進のための協議も継続して行っており、医療機関等との連携は適切に行われている。
協議会評価 A	根拠 コロナ禍においても他病院、診療所、福祉施設等との連携を維持することによって紹介入院患者数が増加した。併せて、「後方支援医療機関連携コンソーシアム」に継続して参加し、新型コロナウイルス罹患後の患者の受け入れも行った。 また、区内の在宅療養体制の包括的な支援を目的としたモデル事業である「台東病院在宅療養支援患者登録制度」を地区医師会と連携し、区内6医療機関と開始したことから医療機関等との連携は適切に行われていると評価できる。

**【備考】**

病院では、平成31年3月に日本医療機能評価機構の病院機能評価(一般病院1)の更新審査を受審し、令和元年5月2日に認定を取得した。老健では、令和3年2月に第三者評価を受審している。共に評価項目ごと、機能や業務水準について評価・見直しを行っている。

**(2)効率性・経済性の評価**

**①台東病院・老人保健施設千束の施設・機器等を効率的に活用しているか**

【参考指標】経営分析結果(高額医療機器の稼働率)など

<p>事業者評価</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 30px; margin: 0 auto;">A</p>	<p>根拠</p>	<p>病院では、新型コロナウイルスワクチン接種や発熱外来を実施するなど、施設全体で区民への新型コロナウイルス対応に取り組んだ。また、前記対応のため、午後外来を休止した影響でCT・MRIの検査件数は減少したが、近隣医療機関からの検査依頼は断らず、CT検査依頼件数は前年度から34件の減、MRI検査依頼件数は前年度から4件の減にとどめることができた。</p> <p>老健では、一般療養棟と認知症専門療養棟を適切に活用できるよう、利用検討会議(入所前カンファレンス)において、診療情報提供書、認知症自立度等の評価内容を参考に、多職種で支援方針を検討し、適切なフロアへの入所調整を行っている。</p> <p>以上により、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、施設・機器等を効率的に活用することができた。</p>
<p>協議会評価</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 30px; margin: 0 auto;">A</p>	<p>根拠</p>	<p>新型コロナウイルスワクチン接種及び発熱外来実施による午後外来休止の影響で、CT・MRIの検査件数は減少したものの、近隣医療機関からのCT・MRIの検査依頼は断らず、依頼件数については小幅度な減少にとどめることができた。</p> <p>また、老人保健施設千束の入所前カンファレンスにおいて、診療情報提供書、認知症自立度等の評価内容を参考に、多職種で支援方針を検討し、一般療養棟と認知症専門療養棟を比較して適切なフロアへ入所調整を行うことができたことから施設・機器等を効率的に活用していると評価できる。</p>

**②台東病院・老人保健施設千束の一体的な事業運営の効率性は発揮されているか**

※医業外及び事業外収支は評価対象外

【参考指標】経営分析結果(P6)など

<p>事業者評価</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 30px; margin: 0 auto;">B</p>	<p>根拠</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は継続しており、医業損益は赤字となった。医業費用は、患者数の増加等のため、感染予防対策に要する医療材料費等が増加したことにより0.6%増加した。しかし、新型コロナウイルスワクチン接種事業に協力したこともあり医業収益が9.4%増加したため、前年度より赤字額を大きく減少させることが出来た。</p> <p>老健についても、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、事業損益は赤字となった。事業収益は、感染対策のため入退所とショートステイの制限及び通所リハビリテーションの人数制限もしたことにより、前年度に比べ6.6%減少した。事業費用は感染対策の継続もあり、1.9%増加した。</p> <p>病院と老健を合わせた事業収益は、前年度に比べ1億2千万円増加となったが、事業費用も3千万円増加しており、全体として9千万円改善の1億4千7百万円の赤字となった。</p> <p>入退院・入退所支援については、従前より、地域連携相談室において病院の入退院支援看護師、病院と老健の社会福祉士等が、同室で共同して業務にあたっており、病院と老健が一体的に事業運営を行っている。</p> <p>以上により、収支については、今後改善に取り組むことが必要であると認識している。</p>
<p>協議会評価</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; width: 30px; margin: 0 auto;">B</p>	<p>根拠</p>	<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業によって台東病院の医業収益が増加したものの、老人保健施設千束では感染対策のため入退所とショートステイの利用制限、通所リハビリテーションの人数制限をしたことで事業収益が減少した。また、施設全体での感染対策による費用増加のため、台東病院の医業損益及び老人保健施設千束の事業損益は赤字となった。</p> <p>入退院・入退所支援については、地域連携相談室において病院の入退院支援看護師、病院と老健の社会福祉士等が共同して業務にあたっており、病院と老健が一体的に事業運営を行っているものの、黒字を確保するため、より一層効率的な運営に取り組むことが求められる。</p>



(3) 計画性・改善状況等の評価

①前年度の運営協議会の意見を台東病院・老人保健施設千束の運営に活かしているか

<p>事業者評価</p> <p>A</p>	<p>根拠</p>	<p>「新型コロナウイルス感染症の地域住民・地域活動への影響は大きい、公的医療機関として、地域へのサポートをしてもらいたい。」との意見については、発熱外来やPCR検査、ワクチン接種等各事業の実施・協力をを行った。</p> <p>また、「今後も新型コロナウイルス感染症回復後の患者の受け入れ等について、協力してもらいたい。」との意見については、回復期リハビリテーション病棟等で新型コロナウイルス感染症後廃用症候群患者の受入病床を確保し、近隣医療機関及び東京都からの依頼も含め受け入れを行った。</p>
<p>協議会評価</p> <p>A</p>	<p>根拠</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対応として、発熱外来、PCR検査、ワクチン接種事業を実施し、回復期リハビリテーション病棟等で新型コロナウイルス感染症後廃用症候群患者の受入病床を確保したうえで患者の受け入れを行ったことから、前年度の運営協議会の意見を台東病院・老人保健施設千束の運営に活かしていると評価できる。</p>

②利用者や区民の意見を取り入れ、台東病院・老人保健施設千束の運営や、利用者の満足度向上に活かしているか

【参考指標】利用者からの主な意見と対応(P6)など

<p>事業者評価</p> <p>B</p>	<p>根拠</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が継続したことにより、利用者からの投書が少なかったことや患者満足度調査を実施しなかったことで、病院・老健に対する意見が今年度も少なかった。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の波が減少した期間に条件付きではあるが面会対応等を実施し、利用者の意見への対応や満足度向上に取り組んだ。今後も、オンライン面会の実施等により、ご家族や利用者の意見への対応や、満足度向上に取り組む。また、様々な場所で頂いた意見に対しては、一括管理を行い、意見の内容、対応に関して職員間での共有を行う。</p>
<p>協議会評価</p> <p>B</p>	<p>根拠</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で利用者の投書が少なかったことや、患者満足度調査を実施しなかったことで、得られた意見は少なかった。そのような状況下でも、意見については職員間で共有し、面会対応の工夫等により、利用者の満足度向上に取り組んだ。しかし、患者から自身の個人情報の問い合わせをされた際の対応については、電話での本人確認を認めるなど、患者に寄り添った対応を検討して改善することが求められる。</p>

③区立の病院・老人保健施設として、他機関では対応が困難なケースの受け入れや区民向けに特化した事業等、採算性にとらわれず事業を実施しているか

<p>事業者評価</p> <p>A</p>	<p>根拠</p>	<p>病院では、新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施し、延べ42,295人の接種を行った。接種に伴い一部外来において診療規模の縮小を行ったが、発熱外来を継続して行い、診療・検査を行った。また、台東区と連携の上、区内高齢者施設入所前PCR検査事業として74件の検査を行い、更に、在宅における介護者の新型コロナウイルス感染症罹患による要介護者の緊急入院要請に対し、2件の受け入れを行った。</p> <p>老健では従来より、他の老健では対応困難と思われる看取りや医療依存度の高い利用者の受け入れを積極的に行ってきた。その結果、看取り件数が増加している他、施設内での肺炎等の治療実績は、前年度の延べ260日から、今年度は延べ457日に増加している。また、3年度より、メディカルショートステイ(入院加療を要しない程度の治療をショートステイで提供すること)のサービス提供を試験的に開始し、延べ32日提供している。</p> <p>なお、虐待案件、重度認知症、独居高齢者の患者等の受け入れにも引き続き対応している。これらの案件は、一部加算等がつくものの採算性は見込めないが、他の老健では一般的に難しいケースであるため、積極的に受け入れを行っている。</p>
<p>協議会評価</p> <p>A</p>	<p>根拠</p>	<p>病院事業として、新型コロナウイルス感染症対応のため発熱外来、PCR検査、ワクチン接種事業を実施し、在宅における介護者の新型コロナウイルス感染症罹患による要介護者の緊急入院要請に対して患者の受け入れを行った。</p> <p>また、老健事業として、医療依存度の高い患者を受け入れることで看取り件数が増加した他、入院加療を要しない程度の治療をショートステイで提供するメディカルショートステイのサービス提供を開始した。</p> <p>引き続き虐待案件、重度認知症、独居高齢者の積極的な受け入れも行っているため、他機関では対応が困難なケースの受け入れや区民向けに特化した事業等、採算性にとらわれず事業を実施していると評価できる。</p>

**④医療従事者の安定的な確保、職員の能力開発や職場の人材育成、組織の持続的成長や環境の変化への適応など、理念を実現する取り組みを推進しているか**

<p>事業者 評価 A</p>	<p>根拠</p>	<p>確保困難職種の看護師や介護士確保のため、学校訪問の実施や就職セミナーに参加する等、新卒採用を含め人材確保の取り組みを積極的に行っている。また、技能実習生の受入や特定技能生の活用も行っている。</p> <p>人材育成等については、コロナ禍でのWEBを使用した勉強会や会議を実施し、多職種で連携した取り組み・教育を行っている。年度当初に目標設定した収益や稼働率については、毎月第2水曜日に開催する事業推進会議にて、継続して目標に対しての進捗状況の確認や課題の検討を行い、改善策や問題点を抽出している。</p> <p>また、毎週金曜日に開催する幹部会議や朝礼等でも職員に対し情報共有を行い、職員が病院及び老健のあり方、目指すべき目標の問題点・改善点を認識、実行できるようにしている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、感染状況に応じた対策を実施するため、新型コロナウイルス感染症対策会議を適宜開催し、早急な計画立案を行う等感染予防対策を徹底している。</p>
<p>協議会 評価 A</p>	<p>根拠</p>	<p>確保困難職種の看護師、介護士確保のため、新卒採用を含め技能実習生の受け入れや特定技能生の活用等多様な人材確保の取り組みを積極的に行っている。</p> <p>また、WEBを使用した勉強会や会議を実施し、多職種で連携した取り組み・教育を行っている。年度当初に目標設定した収益や稼働率については、事業推進会議で目標に対しての進捗状況の確認や課題の検討を行い、改善策や問題点を抽出し、幹部会議や朝礼等で職員が情報を共有している。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対策を実施するため、新型コロナウイルス感染症対策会議を適宜開催し、早急な計画立案を行う等感染予防対策を徹底しているため、医療従事者の安定的な確保、職員の能力開発や職場の人材育成、組織の持続的成長や環境の変化への適応など、理念を実現する取組を推進していると評価できる。</p>

**5 総合評価等**

<p><b>【総合評価】</b></p> <p>台東病院については、高齢者を積極的に受け入れ、60歳以上の入院患者数が増加した点は、地域における高齢者の慢性期医療を担う拠点病院として機能していると評価できる。また、ポストアキュート・サブアキュートの患者の受け入れも積極的に行っており、在宅療養を支援する施設として機能している点も評価できる。</p> <p>新型コロナウイルス対応については、発熱外来、PCR検査、ワクチン接種事業等を実施しており、前年度の運営協議会の意見を運営に活かしていると評価できる。</p> <p>老人保健施設千東(以下、老健という。)については、感染対策による利用制限のために各実績は低下したが、引き続き他機関では対応困難な利用者の積極的な受け入れを実施するとともに、メディカルショートステイの試験的な提供を行う等、新たな取り組みも開始している。</p> <p>また、「在宅強化型」の施設基準の維持や、多職種で支援方針の検討を行っており、在宅復帰に向けた入所施設として機能していると評価できる。</p> <p>収支については、台東病院は新型コロナウイルスワクチン接種事業により医業収益が増加したが、老健は感染対策のための利用制限により事業収益が減少した。また、感染対策による費用増加のため、台東病院の医業収益及び老健の事業収益は赤字となっている。今後は黒字確保のために、効率的な運営に取り組むことが求められる。</p> <p>その他施設の運営については、オンライン面会の実施等により利用者の満足度向上に取り組んだが、個人情報への問い合わせについては、電話での本人確認を認めるなど患者に寄り添った対応を検討して改善することが求められる。また、前年度に続き、患者満足度調査を実施していないため、次年度以降は実施することが求められる。</p> <p>今後とも、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や運営協議会等の意見を活かしながら、区や地域の医療機関等と連携して、質の高いサービスの提供を図ることが求められる。</p> <p><b>【その他意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○区立病院として、効率的な運営と採算性ととらわれない事業を、引き続き実施していただきたい。</li> <li>○老健で試験的に実施しているメディカルショートステイは、今後、本格的に実施していただきたい。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症まん延時における老健の対策に、一部不備があった。医療機関との一体的運営の利点を活かし、同対策の改善に対応していただきたい。</li> </ul>
---